

# 青山会文庫

(兵庫県篠山市教育委員会)



青山家は武蔵岩槻・信濃小諸・遠江浜松・丹波亀山などの城主を経て、寛延元年（1748）以降、丹波篠山に封ぜられ幕末に至った。その旧蔵書のうち藩政史料・和歌関係の書籍や日記類は一括して、平成十年に篠山市に寄贈された。またそれより前に篠山鳳鳴高等学校に寄託された書籍も多い。藩政史料・日記などについては「丹波篠山藩（青山家）古文書目録」、和歌関係資料については『青山会文庫所蔵和漢書分類目録』（平成六年刊）がある。鳳鳴高等学校分については『青山文庫目録』（昭和三十年刊。昭和四十三年縮約版）があるが、平成六年刊目録の附録として収載された。歌書の中心をなすものは、寛文年間（1624-1644）前後、第十一代宗俊（大坂城代）の集書であるが、漢籍および草双紙などは、近世中期から明治にかけて蓄積されたものと見られる。



青山会文庫蔵「源氏物語」紅葉賀巻